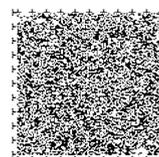




《基本目標》

7

市民一人ひとりが主役！  
絆を大切にし協働・共創の  
まちをつくる



7-1 地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める

5年後のまちの姿

町内会や自治会、地区コミュニティ協議会、NPO<sup>\*1</sup>やボランティア団体等によるまちづくり活動が活発で、地域課題の解決に向けた取組みが市民主体で進んでいます。

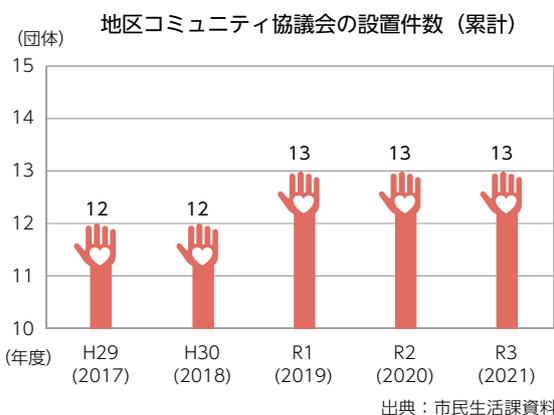
また、様々な事業や計画策定過程等への市民参加が行われ、市民・事業者・関係団体・行政等による協働・共創のまちづくり<sup>\*2</sup>が実現しています。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

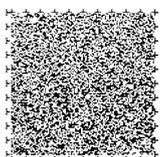
ゴール	
ターゲット	16.6 16.7 16.10

現状と課題

- 市民ニーズの多様化や生活環境の変化等によって地域社会が大きく変遷する中、人と人との絆の大切さが見直され、町内会や自治会等の地域コミュニティ、文化・スポーツ活動、ボランティア等のコミュニティの重要性が高まっています。
- 本市では、コミュニティ施設を活動拠点とし、情報発信等を通じたコミュニティ意識の高揚、地区コミュニティ協議会の設立支援等に努めるほか、コミュニティ施設の管理運営を行っています。
- 地区コミュニティ協議会の活動支援等を通じて、地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを促進するなど、市民によるまちづくり活動の活性化が必要です。
- 本市は、久喜市自治基本条例に基づき、市民参加の推進を積極的に図っています。今後も、様々な機会を捉えて事業や計画策定過程等への市民参加を促し、市民・事業者・関係団体・行政等による協働のまちづくりをより一層進めることが必要です。



市民参加の様子(久喜市総合振興計画審議会)



## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- 🌀 自分が住んでいる地域に関心を持ち、様々な地域活動に参加します。
- 🌀 市民意見提出制度（パブリック・コメント）等に参加します。

### （1）地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを応援します

情報発信等を通じてコミュニティ意識の高揚を図るとともに、地区コミュニティ協議会の活動支援を行い、あらゆる世代が参加しやすい仕組みを作るなど、市民による主体的なまちづくり活動の活性化を図ります。また、活動拠点となるコミュニティ施設の管理運営や、施設機能の充実に努めます。

### （2）市民団体・ボランティア団体の活動を支援します

団体への情報提供や補助金の交付等を行うことで、市民団体・ボランティア団体の創意工夫による、発展性のある新たなまちづくり活動を支援します。また、地域活動に関するあらゆる関係者・関係団体との連携を強化し、活動の充実に努めるとともに、市民団体からの相談や補助金申請に対し適切な支援を行います。

### （3）幅広く市民参加の機会を確保し、協働のまちづくりを進めます

協働のまちづくりの機運を高めるため、引き続き、市民参加と協働への理解促進に努めます。また、様々な機会を捉え、事業や計画策定過程等への市民参加を促し、市民・事業者・関係団体・行政等による協働のまちづくりを進めるとともに、デジタル技術等の活用により、市民、特に次代を担う若い世代の市政に対する興味・関心が高まるような、新たな手法を取り入れた市民参加の仕組みづくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
附属機関委員のうち10～30歳代の委員の数	32人	43人
新たなまちづくり活動（地域提案型活動事業 <sup>*3</sup> ）に関する申請数	4件	10件

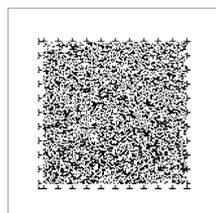
### 関連する分野別計画

市民参加計画（毎年度策定）

\*1 NPO：p.15参照。

\*2 協働・共創のまちづくり：p.2参照。

\*3 地域提案型活動事業：市民が主役となり、魅力あふれる地域づくりを進めるため、市民団体が自ら企画、提案及び実施する活動を支援する市独自の取組み。



7-2 地域間や国外との幅広い交流を促し出会いを大切にする

5年後のまちの姿

友好都市や姉妹都市をはじめ、国内外の地域との交流が活発に行われています。  
また、異なる文化や価値観、産物等に触れることにより、市民の心の豊かさが養われるとともに、多文化共生のまちづくりが進んでいます。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

ゴール	 4 質の高い教育を みんなに	 10 人や国の不平等を なくそう	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
ターゲット	4.7	10.2 10.7	11.a	17.16

現状と課題

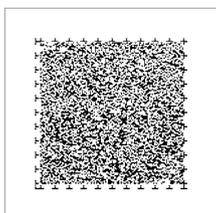
- 国際化や情報社会の進展を背景に、国内外の地域はより身近なものとなっています。異なる文化や価値観、産物等に触れることにより、多様性への理解が進むだけでなく、多文化共生をはじめとする新たな視点からのまちづくりの促進が期待されます。
- 本市では、友好都市の提携を結ぶ青森県野辺地町と産業交流を行っていますが、新たな分野における交流の促進が必要です。
- 本市では、アメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市と姉妹都市の提携を結び、成人及び中学生の親善交流（受入・派遣）事業が行われています。今後は、「久喜市・ローズバーグ協会」の活動を支援し、事業の継続的な展開が必要です。



ローズバーグ市との中学生親善交流の様様



菖蒲産業祭にて青森県野辺地町、長野県青木村による出店



## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- ✿ 新たな価値観や文化等を学び、SDGs等の国際的な動きを踏まえた活動に取り組みます。
- ✿ 国内外の他の地域に暮らす人々と、観光やスポーツイベント等で交流します。

### (1) 多様な国内の地域との地域間交流を進めます

関係団体の活動を支援するなど、様々なまちの良さに触れることのできる地域間交流事業の充実を図るとともに、文化・スポーツ等の様々な分野における交流を推進します。

### (2) 多様な国外の地域との国際交流を進めます

関係団体の活動を支援するなど、市民の親善交流事業の充実を図るとともに、国外の文化に触れることで、これからの社会に求められる国際感覚あふれる視点を持った人材育成を推進します。

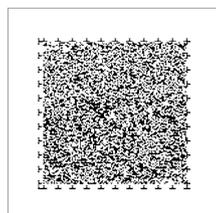
### (3) 市民・団体・事業者等による地域間交流・国際交流を支援します

市民が多様な文化や価値観に触れる機会を作るとともに、様々な角度から地域活性化を図るため、文化・スポーツ等を含めた幅広い交流を進め、教育・学習や観光・産業だけでなく、市民・団体・事業者等による新たな地域間交流・国際交流活動を支援します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
国際交流事業参加者数	3人 ※コロナ影響 52人 (R元年度)	52人
地域間交流事業参加者数	0人 (中止) ※コロナ影響 52人 (R元年度)	52人

### 関連する分野別計画

無し



7-3 多種多様なステークホルダーと連携する

5年後のまちの姿

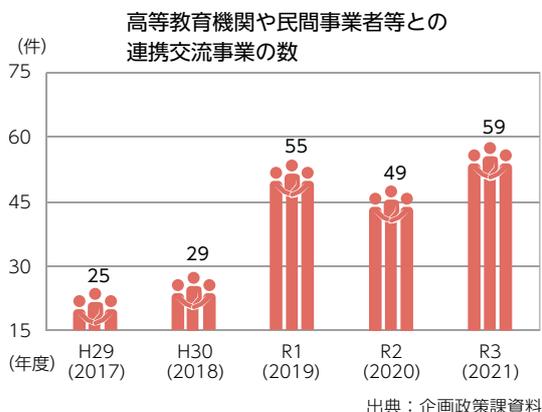
高等教育機関や事業者、関係団体等の多種多様なステークホルダー\*1（関係者）と本市が効果的に連携・協力することで、複雑化かつ多様化する課題へ共に対応し地域活性化に取り組む、絆を大切にした協働・共創のまちづくり\*2が実現しています。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

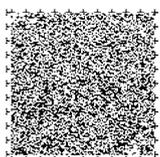
ゴール			
ターゲット	4.7	10.2	17.16

現状と課題

- 社会経済情勢の著しい変化を背景に、解決すべき地域課題は複雑化かつ多様化しています。この課題解決に向け、行政だけでなく、高等教育機関や事業者、関係団体等の多種多様なステークホルダーが主体的に連携する、地域共治（ローカル・ガバナンス）のまちづくりが進められています。
- 本市では、大学等の高等教育機関と連携協定を締結し、各種イベントやボランティア等に連携協定先の教員や学生が参画するなど、まちづくりの様々な分野で、地域活性化に向けた協働の取組みを推進しています。更なる地域活性化に向けて、今後も高等教育機関との連携の強化が必要です。
- 本市では、事業者や関係団体と連携協定を締結し、本市の更なる活性化や市民サービスの向上等に向けた取組みを幅広く進めています。行政の有する資源に限りのある中、地域課題の解決に向け、今後も連携を強化しながら、事業者等が有するノウハウ等をまちづくりへ活用するとともに、PPP/PFI\*3の手法等を活用した更なる官民連携によるまちづくりの推進が重要です。



高等教育機関との連携の様相



## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- ✿ 高等教育機関の学生等と交流を深めるため、連携事業に関心を持ち、イベントや学習等に参加します。
- ✿ 市と連携するステークホルダーとして、有するノウハウ等を生かし、市民の学びや健康づくり等に協力します。

### (1) 高等教育機関との連携によるまちづくりを進めます

誰一人取り残さない社会の実現といったSDGsの視点を踏まえた地域課題の解決に向けて、高等教育機関が持つ知見や専門知識等を活用し、様々な分野において連携を図り、協働・共創のまちづくりを進めます。また、連携によるイベント等の開催により、市民や学生間の交流による関係人口<sup>\*4</sup>を増やします。

さらに、新たな時代潮流や地域課題を見据え、他の高等教育機関との新たな連携を推進します。

### (2) 民間事業者等との連携によるまちづくりを進めます

事業者や団体の持つノウハウ等を活用し、幅広い分野において共に協力し合い、誰一人取り残さない社会の実現といったSDGsの視点を踏まえた地域課題の解決に取り組みます。また、産官学連携を視野に入れるなど、更なる相乗効果をもたらす連携を推進します。

さらに、新たな時代潮流や地域課題を見据え、研究機関や金融機関といった様々な業種との新たな連携を推進します。

### (3) 民間活力を生かした行政サービスの向上を図ります

財源や人材等の行政資源に限りがある中において、PPP/PFIの手法等を活用した事業の展開を進めます。また、民間活用によるサービスの向上等を図るため、公共施設における指定管理者制度の適切な運用を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
高等教育機関や民間事業者等との連携交流事業数	59件	83件
イベントにおける高等教育機関・民間事業者等関係参加者数	9人 ※コロナ影響 33人 (H30年度)	70人

### 関連する分野別計画

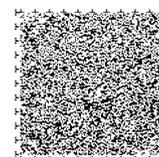
無し

\*1 ステークホルダー：p.43参照。

\*2 協働・共創のまちづくり：p.2参照。

\*3 PPP/PFI：p.48参照。

\*4 関係人口：p.12参照。



7-4 広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める

5年後のまちの姿

多様な媒体を通じた戦略的なシティプロモーション\*1が展開され、久喜の魅力が広く浸透・認知され、市民の地元への誇りや愛着も高まっています。

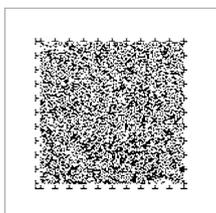
また、各種イベントや祭りのほか、交通利便性や自然環境等の本市の多様な魅力について効果的かつ戦略的なシティプロモーションを図ることで、企業立地や交流人口\*2・関係人口\*3が増加し、移住・定住が促進され、まちの賑わいが創出されています。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

ゴール					
ターゲット	8.9	11.a	12.b	15.1 15.3 15.b	16.6 16.7 16.10

現状と課題

- 地域の魅力の醸成は、移住・定住の促進や産業振興のためにも重要であり、地域資源の発掘やブランド化、戦略的なシティプロモーションに取り組む自治体が増えています。
- 本市は、様々な機会を捉えて久喜の魅力を市内外に発信し、シティプロモーションを推進しています。今後も、シティプロモーションが交流人口・関係人口の増加だけでなく移住・定住等にも繋がるような戦略的な取組みが必要です。
- 本市は、豊かな自然や、久喜提燈祭り等の催し、コスモスやラベンダー等の花、梨やいちご等の特産品、静御前の墓や鷲宮神社、アニメ、クッキーダンス等の豊富な地域資源・観光資源を有しており、多様な魅力があります。今後も、このような魅力を市民等との協働のもとで更に発掘し、活用を図っていくことが重要です。
- 広報紙やホームページのほか、メール配信や公式 SNS、公式動画チャンネル等を通じて、正確で分かりやすい市政情報の提供に努めています。今後も、様々な情報発信媒体の特性を生かし、市の魅力やイベント情報等を継続して効果的に配信することが必要です。
- 我が国初の林学博士であり、「日本の公園の父」とも称される郷土の偉人・本多静六博士の『天然更新の森』という考え方は、現代のSDGsの理念を先取りしていると考えられます。その功績を改めて顕彰するとともに、博士の教えを積極的に広めることにより、市民の地元への誇りや愛着の醸成を図ることが重要です。



「日本の公園の父」郷土の偉人・本多静六博士



久喜市オリジナルダンス「クッキーダンス」

## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- 久喜の魅力を発掘し、SNS 等を通じて市内外に情報を広く発信します。
- 広報紙やホームページ等からまちの情報を積極的に入手し活動します。
- 行政との協働により、久喜に関心を持つ人々を増やします。

### (1) 戦略的なシティプロモーションを推進します

交流人口・関係人口の増加を図るとともに、市民の地元への誇りや愛着を醸成するため、広報紙やホームページのほか、メール配信や公式 SNS、公式動画チャンネル等の様々な情報発信媒体、フィルムコミッション\*4等の機会を活用して、久喜の魅力を市内外に向け戦略的に発信し、市の知名度やイメージの向上に努めます。また、久喜の魅力を活用し、移住・定住や企業立地の促進等を図る取組みを推進します。

### (2) 久喜の魅力を発掘し活用します

水辺や田園風景、季節の花、先人が育んできた歴史・文化、優れた交通利便性や子育て環境、特産品等、本市が有する多様な魅力を多角的に発掘します。また、本市の魅力を次世代に引き継げるよう、関係団体やボランティア等を支援します。

さらに、祭りやイベント・文化財等の観光資源としての価値を高め、久喜の強みとして活用するとともに、本市の交通利便性や立地条件を生かした観光を推進します。

### (3) 本多静六博士の功績を生かしたまちづくりを進めます

郷土の偉人である本多静六博士の功績を顕彰するとともに、博士と関連付けた SDGs の推進や「(仮称) 本多静六記念 市民の森・緑の公園」の整備等、本多静六博士の教えを踏まえた取組みを進めます。

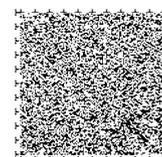
重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
人口推移における社会動態*5の増加数	△25人 (速報値)	140人
年間観光入込客数	1,362,206人 ※コロナ影響 2,391,118人 (R元年)	2,400,000人
ふるさと納税寄附金の寄附者数【再掲】	1,555人	2,800人

#### 関連する分野別計画

久喜市シティプロモーション推進指針 (令和 2 (2020) 年度改訂)

久喜市 (仮称) 本多静六記念 市民の森・緑の公園基本計画

(平成 29 (2017) 年度策定)



【コラム】

## 姉妹都市・友好都市について

### ●姉妹都市・友好都市とは？

本市では、都市間における産業、経済、文化、教育等の交流により相互の理解と信頼を深め、友好関係を推進するため、「姉妹都市」「友好都市」の提携を結んでいます。

皆さんもこれらの都市との交流に参加してみませんか。



市役所通り沿いの方向サイン

### ●アメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市(姉妹都市)



ノース・アンプクワ川

ローズバーグ市との交流は、旧菖蒲町から継続しているもので、昭和60(1985)年に教育視察のため来日していたローズバーグ市内の小学校教諭が、菖蒲中学校を来訪したことが縁で始まりました。平成27(2015)年に久喜市として姉妹都市提携を結び、中学生及び成人の親善交流(派遣・受入)事業を行っています。

ローズバーグ市は北アメリカ大陸の西海岸、オレゴン州の南西部に位置し、小高い山々に囲まれた緑豊かな都市です。地中海性気候に区分されて、夏季は乾燥して涼しく、冬季は温暖で雨が多いのが特徴です。

特産品としては、ワインや木工品等があります。

### ●青森県野辺地町(友好都市)

本市名誉市民の本多静六博士が提唱した、野辺地駅構内の日本初の鉄道防雪林が縁で旧菖蒲町と野辺地町の交流が始まりました。平成25(2013)年に久喜市として友好都市提携を結び、菖蒲産業祭等の産業分野を中心に交流しています。

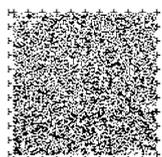
野辺地町は、青森県の下北半島の付け根に位置し、青森市から東に40kmの位置にあります。夏はヤマセ(偏東風)による冷涼な気候で過ごしやすく、冬は降雪量が多いためウィンタースポーツも盛んです。

また、北前船の寄港地として栄えた港町としての歴史があり、のへじ祇園まつり等、当時の文化が今も大切に伝えられています。

特産品としては、陸奥湾産のホタテや葉つきこかぶ、かわらけつめい茶等があります。



日本初の鉄道防雪原林  
(野辺地駅構内)



\*1 シティプロモーション：p.31参照。

\*2 交流人口：p.12参照。

\*3 関係人口：p.12参照。

\*4 フィルムコミッション：映像作品を通じて知名度の向上や観光振興及び地域の活性化を図るため、映画やTVドラマ等、様々な撮影の誘致・支援を行うこと。

\*5 人口推移における社会動態：転入・転出に伴う人口の増減のこと。